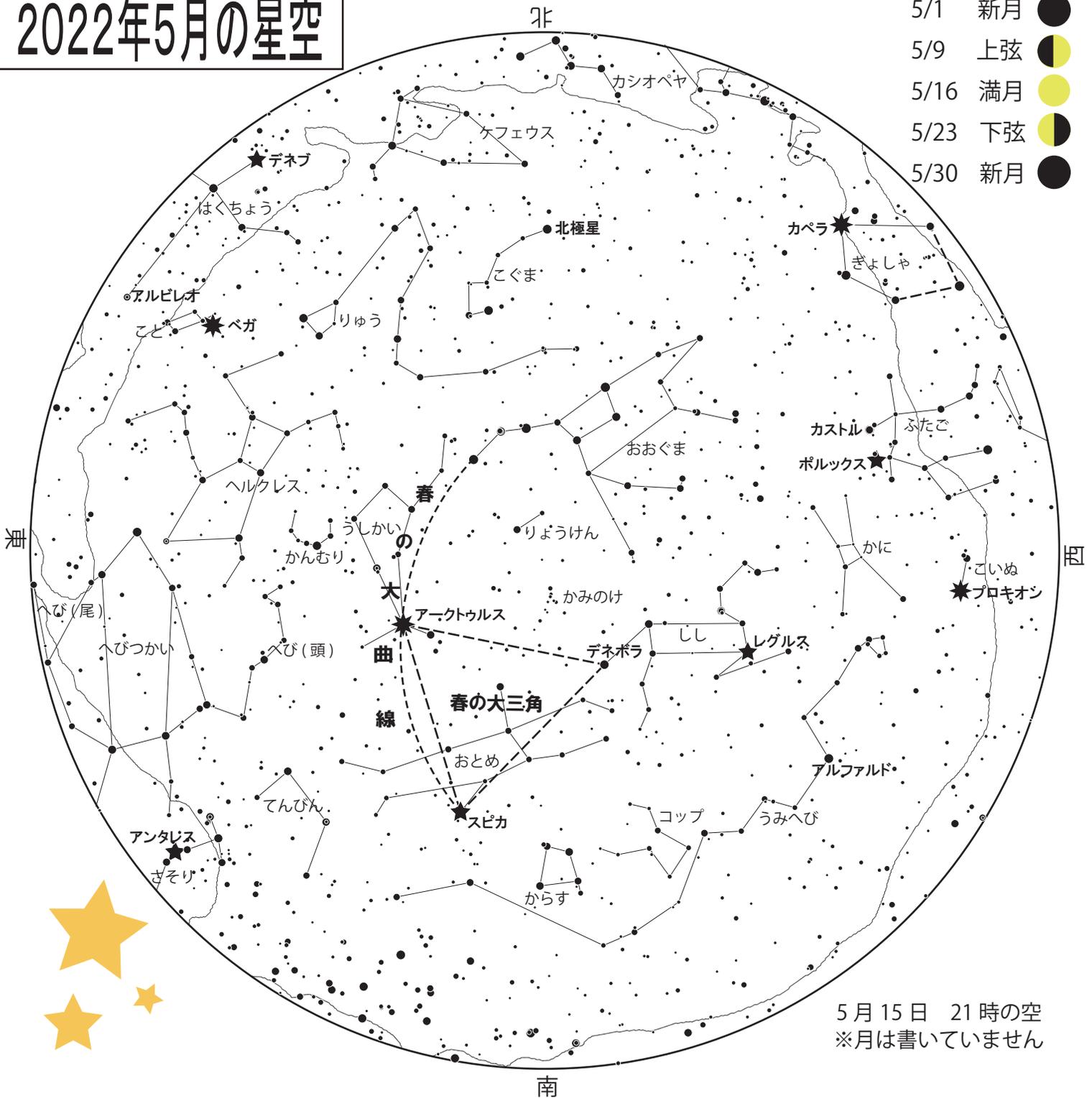


# 姫路で見る 2022年5月の星空

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。  
この星図は見ている方向の方位を下にしてください。

- 5/1 新月 
- 5/9 上弦 
- 5/16 満月 
- 5/23 下弦 
- 5/30 新月 



5月15日 21時の空  
※月は書いていません

暖かくなってきて、すっかり春の星空になりました。南西の空には、しし座が見えています。?マークを裏返しにしたような「ししの大鎌」と呼ばれる星の並びが目印になります。しし座の胸の辺りに輝く星がレグルス、しっぽの辺りに輝く星がデネボラです。

北の空高くには、ひしゃくの形をした「北斗七星」が見えています。器の先を伸ばしていくと「北極星」を見つけることができます。北斗七星はおおぐま座のしっぽにある星の並びで、北極星はこぐま座のしっぽにある星です。おおぐま座とこぐま座はギリシャ神話に登場する親子だといわれています。

北斗七星の持ち手の先を伸ばしていくと、うしかい座のアークトゥルス、おとめ座のスピカが見つかります。北斗七星からこの2つの星を結んだ線が「春の大曲線」です。春の大曲線から更に線を伸ばしていくと、四角の星の並びの、からす座を見つけることができます。

アークトゥルスとスピカ、デネボラを結んでできる「春の大三角」もぜひ確かめてみて下さい。